

# J A グループ宮城 災害復興ニュース ( 総合版 )

第 7 7 号

【平成 27 年 6 月 3 日 (水) 発行】  
発行：J A グループ宮城災害復興本部  
編集：J A 宮城中央会  
〒980-0011 仙台市青葉区  
上杉 1 丁目 2 番 16 号 JA ビル宮城 6F  
電話番号：022-264-8207  
FAX 番号：022-216-4466  
E-mail：jataisaku@gmail.com

## 《目次》

1. 復興途上の現場の窮状を訴える。TPPで宮城県JA代表者要請集会
2. 育て！「闘魂米」。アントニオ猪木さんらが被災地で田植え
3. 原発事故損害賠償対策宮城県協議会が東京電力に第 45 次請求

### 1. 復興途上の現場の窮状を訴える。TPPで宮城県JA代表者要請集会



宮城県JA代表者要請集会で「頑張ろう！」を三唱する上京団

J A 宮城中央会と県農協政治連盟は 5 月 19 日、東京都内で「TPP 交渉に関する宮城県 J A 代表者集会を開き、県選出の与党国会議員に、国会決議の遵守と情報開示の徹底を強く要請しました。震災からの復興が道半ばの中で、米価下落に苦しむ現場の声を訴え、国会決議も守れないような TPP 交渉は断じて許せない、と訴えました。

集会には、自民党から伊藤信太郎、西村明宏、小野寺五典、秋葉賢也、土井亨、勝沼栄明（以上、衆議院）、愛知治郎、熊谷大（以上、参議院）の 8 議員、公明党からは井上義久幹事長（衆議院）の合わせて 9 人が本人出席。自民党の高階恵美子参議院議員は秘書が代理出席しました。

J A グループは、各 J A の常勤役員や青年部・女性部代表など約 40 人が参加しました。中央会の石川壽一会長は「米国などの圧力に屈して、食の安全・安心や農業、農村を犠牲にすることは決して許されない」と訴えました。

これに対して出席議員らは、「我々にも情報開示がなく、歯がゆい思いだが、約束を守るのは我々の責任。国会決議はしっかり守る。しっかり結果を出す」と語りました。

上京団は県の要請集会後、約 1,500 人が結集した全国の TPP 集会に参加しました。

## 2. 育て！「闘魂米」。アントニオ猪木さんらが被災地で田植えを応援

津波被害を受けた水田を復活させ「闘魂米」として販売、売上は復興のために寄付するという「闘魂米育成プロジェクト」が、アントニオ猪木さんとJA全農みやぎ、JA全農福島のコラボレーションでスタートしました。

猪木さんとプロレスラーら9人が5月24日、仙台市の農事



子どもたちと一緒に拳をつきあげるアントニオ猪木さん（中央）

組合法人「井戸生産組合」の水田に駆け付け、地元住民や子どもたちと「ひとめぼれ」の苗を植えました。猪木さんは「元気があれば田植えもできる。1、2、3ダー」と、参加者と一緒に拳を突き上げ、豊作を願いました。

猪木さんは、震災発生時から被災地への物資支援、被災地から東京へのイベント観戦ツアー実施などを継続して行ってきました。この日は、福島県南相馬市でも田植えを応援しました。

## 3. 原発事故損害賠償対策宮城県協議会が東京電力に第45次請求

JAグループ東京電力原発事故農畜産物損害賠償対策宮城県協議会は5月29日、第45次請求として東電に6,043万円を請求しました。内訳は、牧草の利用自粛等にかかわる損害が3,827万円、牧草地の除染にかかわる損害が2,001万円など。

5月29日現在、同協議会の請求総額は313億8,314万円。受領総額は289億7,528万円で、請求対比92・3%となっています。

以 上